

度などの政治教育をどのように行っているのか。また、政治教育の目的は、自分で決められる人間を育てることであり、社会人になってからの投票行動にもつながるものと思つが。

答 小学6年生、中学3年生の社会科で国民の政治参加の大切さ、選挙の役割などを学び、高校生で政党政治と選挙、政治および主催者としての政治への参加のあり方など詳しく学んでいる。政治教育によって、児童生徒が、将来、主権者として政治に参画し、民主的平和的な社会の形成者となるよう公民的資質の育成を図っている。

手城川水系の整備計画は (新政クラブ)

問 記録的な豪雨にみまわれ、本市でも大きな被害があった。手城川水系の南蔵王地区では、今年になって2回目の床上浸水が起こったが、今後の整備計画は。

答 昭和63年から県と市で、手城川総合的治水事業として、河道の一部改修や排水ポンプの設置な

どを進めている。現在は、24年度の完成を目指し、春日池に洪水調整池の機能を持たせるための工事を進めている。この春日池整備工事の完了後、未整備部分の河道改修を下流から行う計画をしている。

◇関連質問

- ・雨水対策について (明政会)
- ・豪雨対策、排水ポンプ場の安全管理は (公明党)
- ・豪雨・防災対策は (市民連合)
- ・手城川流域の拡幅・流路変更などの河川改修 (日本共産党)



浸水被害

福山市学校教育ビジョンについて (公明党)

問 本市は、これまで乳児健診時の読み聞かせ、朝の読書

運動、学校図書館図書標準の達成、司書教諭の配置、読書ボランティアの増加など取り組んできたが、この際それぞれの事業を体系付けることにより、一人でも多くの子ども達が本と出会い、読書の喜びを感じられるようにするために福山市子ども読書活動推進計画を策定する考えは。

答 本年3月、国において「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(第二次)を策定したところである。子ども読書活動推進計画の策定については、ビジョンⅢとの整合性を図りつつ、国の計画を踏まえ、検討していく。

◇関連質問

- ・全国一斉学力テストについて (明政会)
- ・市長の教育政策について (新政クラブ)

不登校、ひきこもりの児童・生徒の居場所づくり (市民連合)

問 不登校、ひきこもり児童・生徒の支援施設として、引野町に「かがやき」があるが、

不登校中学生452人中16人しか登校していない現状。施設が遠距離であり、支援のあり方にも課題がある。市域も拡大しており、遊休施設の活用などにより、拠点支所単位による支援施設整備が待ち望まれている。

答 本市では、不登校対策実践指定校事業として、8中学校区の26小中学校に1名ずつの加配教員を配置し連続欠席の未然防止などに取り組んでいる。「かがやき」では、教科学習やスポーツ文化活動の指導、保護者への教育相談と保護者会の実施など行っている。

◇関連質問

- ・不登校対策について (公明党)



適応指導教室「かがやき」がある福山市研修センター